

2022年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年3月16日

上場会社名 M I C S 化学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7899 URL <https://www.c-mics.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大塚 茂樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 原川剛一郎 TEL 0561-39-1211
 四半期報告書提出予定日 2022年3月16日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年4月期第3四半期の連結業績（2021年5月1日～2022年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年4月期第3四半期	1,939	9.5	41	△15.4	43	△16.9	28	△1.7
2021年4月期第3四半期	1,771	△7.2	49	7.6	51	19.6	28	33.9

(注) 包括利益 2022年4月期第3四半期 29百万円 (△5.8%) 2021年4月期第3四半期 31百万円 (57.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年4月期第3四半期	5.38	—
2021年4月期第3四半期	5.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年4月期第3四半期	3,740	3,138	83.9
2021年4月期	3,782	3,149	83.3

(参考) 自己資本 2022年4月期第3四半期 3,138百万円 2021年4月期 3,149百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年4月期	—	4.00	—	4.00	8.00
2022年4月期	—	4.00	—		
2022年4月期（予想）				4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年4月期の連結業績予想（2021年5月1日～2022年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,556	7.5	13	△75.9	14	△75.4	9	△68.0	1.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2022年3月16日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年4月期3Q	5,850,000株	2021年4月期	5,850,000株
② 期末自己株式数	2022年4月期3Q	591,694株	2021年4月期	597,214株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年4月期3Q	5,255,526株	2021年4月期3Q	5,250,101株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	7
(収益認識関係)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により経済活動が大きく制限された状況から徐々に持ち直しつつありましたが、年明けからの感染再拡大により、予断を許さない状況となっております。また原油価格の高騰や物価の上昇により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は食品、非食品分野ともに増加し、1,939百万円（前年同四半期比9.5%増）となりました。

用途別の売上高は、食品分野では惣菜用途や畜産用途で巣籠り需要による内食向けが増加し、1,134百万円（前年同四半期比6.4%増）となりました。

非食品分野では、輸出向けの機械用途や産業用途が増加し、420百万円（前年同四半期比25.3%増）となりました。

商品等につきましては、食品分野向けの仕入商品が増加し、384百万円（前年同四半期比4.0%増）となりました。

損益につきましては、売上高は増加したものの、第2四半期連結会計期間以降の原料価格の上昇により、営業利益は41百万円（前年同四半期比15.4%減）、経常利益は43百万円（前年同四半期比16.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は28百万円（前年同四半期比1.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,369百万円となり、前連結会計年度末に比べ73百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が116百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が33百万円、電子記録債権が56百万円、有価証券が100百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は1,371百万円となり、前連結会計年度末に比べ115百万円減少いたしました。これは主に建物及び構築物が21百万円増加したものの、機械装置及び運搬具が24百万円、建設仮勘定が15百万円、投資有価証券が99百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は3,740百万円となり、前連結会計年度末に比べ42百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は587百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が78百万円増加したものの、未払法人税等が22百万円、その他が93百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は13百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は601百万円となり、前連結会計年度末に比べ31百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,138百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益28百万円、剰余金の配当42百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は83.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年6月11日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2022年3月16日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,398,860	1,282,700
受取手形及び売掛金	569,846	602,896
電子記録債権	125,549	182,298
有価証券	—	100,049
商品及び製品	81,946	82,439
仕掛品	47,283	48,677
原材料及び貯蔵品	55,948	56,888
その他	16,780	13,520
貸倒引当金	△314	△366
流動資産合計	2,295,901	2,369,105
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	271,703	293,456
機械装置及び運搬具 (純額)	175,536	151,350
土地	634,701	634,701
建設仮勘定	15,232	—
その他 (純額)	9,598	10,360
有形固定資産合計	1,106,773	1,089,868
無形固定資産	14,776	20,513
投資その他の資産		
投資有価証券	328,598	229,566
繰延税金資産	19,030	14,891
その他	18,839	17,714
貸倒引当金	△1,031	△1,031
投資その他の資産合計	365,437	261,140
固定資産合計	1,486,986	1,371,523
資産合計	3,782,887	3,740,629

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	394,903	473,011
短期借入金	12,000	12,000
未払法人税等	25,074	2,809
賞与引当金	—	13,779
役員賞与引当金	—	1,024
損害補償損失引当金	4,207	—
その他	178,974	85,216
流動負債合計	615,159	587,840
固定負債		
退職給付に係る負債	664	468
資産除去債務	10,500	10,500
その他	6,954	2,954
固定負債合計	18,118	13,922
負債合計	633,278	601,763
純資産の部		
株主資本		
資本金	774,000	774,000
資本剰余金	1,150,310	1,150,310
利益剰余金	1,861,488	1,847,157
自己株式	△257,616	△255,235
株主資本合計	3,528,181	3,516,232
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,961	10,166
土地再評価差額金	△387,533	△387,533
その他の包括利益累計額合計	△378,571	△377,366
純資産合計	3,149,609	3,138,865
負債純資産合計	3,782,887	3,740,629

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2021年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2022年1月31日)
売上高	1,771,810	1,939,346
売上原価	1,207,837	1,376,877
売上総利益	563,972	562,468
販売費及び一般管理費	514,535	520,655
営業利益	49,437	41,812
営業外収益		
受取利息	321	324
受取配当金	1,409	1,452
受取保険金	—	2,179
その他	1,969	904
営業外収益合計	3,700	4,861
営業外費用		
支払利息	106	106
売上割引	1,047	—
支払手数料	—	3,000
固定資産除却損	8	349
その他	3	6
営業外費用合計	1,166	3,463
経常利益	51,972	43,211
税金等調整前四半期純利益	51,972	43,211
法人税、住民税及び事業税	19,576	10,776
法人税等調整額	3,621	4,139
法人税等合計	23,197	14,916
四半期純利益	28,774	28,295
親会社株主に帰属する四半期純利益	28,774	28,295

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2021年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2022年1月31日)
四半期純利益	28,774	28,295
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,529	1,205
その他の包括利益合計	2,529	1,205
四半期包括利益	31,304	29,501
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,304	29,501

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、従来は営業外費用に計上しておりました売上割引については、売上高から減額しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、プラスチックフィルム製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第3四半期連結累計期間(自 2021年5月1日 至 2022年1月31日)

(単位:千円)

	売上区分			合計
	食品	非食品	商品及び受託加工	
一時点で移転される財	1,134,826	420,286	384,232	1,939,346
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	1,134,826	420,286	384,232	1,939,346
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,134,826	420,286	384,232	1,939,346

(注) 単一セグメントであるため、セグメント別の収益の内訳は記載しておりません。

(追加情報)

(新型コロナウイルスに関する会計上の見積りについて)

前事業年度の決算短信に記載した新型コロナウイルスの収束時期を含む仮定について、重要な変更はありません。